

# 四半期報告書

(第47期第3四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

**サコス株式会社**

(E04888)

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 1

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 2
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 2

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 ..... 3
- (2) 新株予約権等の状況 ..... 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 3
- (4) ライツプランの内容 ..... 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 3
- (6) 大株主の状況 ..... 3
- (7) 議決権の状況 ..... 4

#### 2 役員の状況 ..... 4

### 第4 経理の状況 ..... 5

#### 1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 8
  - 四半期連結損益計算書 ..... 8
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 9

#### 2 その他 ..... 11

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 12

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	サコス株式会社
【英訳名】	SACOS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 瀬尾 伸一
【本店の所在の場所】	東京都品川区東五反田四丁目5番3号
【電話番号】	(03) 3442-3900（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役本社部門管掌 石川 忠
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東五反田四丁目5番3号
【電話番号】	(03) 3442-3900（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役本社部門管掌 石川 忠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期連結 累計期間	第47期 第3四半期連結 累計期間	第46期 連結会計年度
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成24年 6月30日	自平成24年 10月1日 至平成25年 6月30日	自平成23年 10月1日 至平成24年 9月30日
売上高（百万円）	9,618	10,550	12,860
経常利益（百万円）	376	684	439
四半期（当期）純利益（百万円）	185	400	182
四半期包括利益又は包括利益 （百万円）	187	403	182
純資産額（百万円）	6,198	6,503	6,193
総資産額（百万円）	12,359	12,645	12,234
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	4.24	9.13	4.16
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	4.24	9.12	4.16
自己資本比率（％）	50.0	51.2	50.4

回次	第46期 第3四半期連結 会計期間	第47期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	0.32	1.49

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 当社は、平成25年4月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期（当期）純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社及び連結子会社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景とした緩やかな回復基調にあり、年末に発足した新政権への期待感から個人消費の拡大など一部に景気の持ち直しも見られましたが、欧州経済の低迷や中国経済の減速、不安定な国際情勢から先行き不透明な状況で推移しました。

当社および連結子会社が関連する建設業界におきましては、民間企業の設備投資は依然として様子見が続いておりますが、首都圏ではJR東日本の東北縦貫線や大型ターミナル駅改良工事、私鉄各社の連続立体化工事などの鉄道工事、首都高速道路や外環道、圏央道などの道路工事が継続しており、建築工事では住宅関連工事が堅調に推移しております。関西地区でも継続する阪神高速道路大和川線に加えて新名神高速道路高槻・神戸間の工事が本格化してきました。

このような状況において、当社は大手ゼネコンをメインターゲットに営業活動をおこない、大型プロジェクト工事および建築工事を中心に既存現場の受注拡大と新規現場の受注を進めました。環境関連オリジナル商品に追加して投入した充電式ハンディ型LEDライト「ミニ静Light」も各方面で好評をいただいております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、105億50百万円（前年同四半期比109.7%）となりました。内訳としましては、賃貸収入が85億27百万円（同106.8%）、その他の売上高が20億22百万円（同124.0%）となりました。

また、営業利益につきましては、6億76百万円（同178.0%）、経常利益につきましては、6億84百万円（同181.7%）、四半期純利益につきましては、4億円（同215.3%）となりました。

今後も景気の動向は予断を許しませんが、当社といたしましては中期的な経営戦略「みのむし経営」の仕上げの年として、ICTを活用した営業の効率化と情報の迅速化を取り入れつつ、地に足をつけた営業活動を進め、業容の拡大と財務体質の強化ならびに業績の安定に努めてまいります。

#### (2) 財政状態の分析

##### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、126億45百万円と前連結会計年度末に比べて4億11百万円（3.4%）の増加となりました。これは、売上債権の増加1億92百万円に加え、現金及び預金の増加1億11百万円があったためであります。

##### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、61億42百万円と前連結会計年度末に比べて1億1百万円（1.7%）の増加となりました。これは、仕入債務の増加1億39百万円があったためであります。

##### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、65億3百万円と前連結会計年度末に比べて3億9百万円（5.0%）の増加となりました。これは、配当金の支払87百万円があったものの、四半期純利益4億円を計上したためであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	43,866,681	43,866,681	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	43,866,681	43,866,681	—	—

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	△43,866	43,866	—	1,167,551	—	165,787

(注) 発行済株式総数の減少は、普通株式の併合(2株を1株に併合)によるものであります。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

### ① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 82,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 87,650,400	876,504	—
単元未満株式	普通株式 962	—	—
発行済株式総数	87,733,362	—	—
総株主の議決権	—	876,504	—

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が700株が含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。

2. 平成24年12月21日開催の定時株主総会決議に基づき、平成25年4月1日を効力発生日とし、普通株式2株を1株の割合で併合し、発行済株式総数は43,866,681株減少し、43,866,681株となっております。

### ② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
サコス株式会社	東京都品川区東五反田四丁目5番3号	82,000	—	82,000	0.1
計	—	82,000	—	82,000	0.1

(注) 平成24年12月21日開催の定時株主総会決議に基づき、平成25年4月1日を効力発生日とし、普通株式2株を1株の割合で併合しております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,118,402	1,229,981
受取手形及び売掛金	※ 4,162,043	※ 4,354,633
商品及び製品	22,584	13,670
仕掛品	21,910	29,378
原材料及び貯蔵品	102,008	113,894
その他	320,508	320,930
貸倒引当金	△42,839	△48,629
流動資産合計	5,704,618	6,013,858
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	283,270	262,938
土地	4,598,453	4,598,453
その他（純額）	1,114,601	1,148,840
有形固定資産合計	5,996,325	6,010,232
無形固定資産	7,452	6,088
投資その他の資産		
その他	592,436	688,607
貸倒引当金	△66,606	△73,161
投資その他の資産合計	525,830	615,446
固定資産合計	6,529,608	6,631,767
資産合計	12,234,227	12,645,625
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,876,128	3,016,101
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	612,500	231,400
1年内償還予定の社債	384,500	342,000
未払法人税等	222,974	174,537
賞与引当金	233,905	172,221
役員賞与引当金	3,520	5,220
その他	432,584	477,478
流動負債合計	4,766,112	4,518,959
固定負債		
社債	896,000	1,088,000
長期借入金	182,000	300,600
役員退職慰労引当金	4,080	5,010
資産除去債務	59,024	58,631
その他	133,169	170,843
固定負債合計	1,274,273	1,623,084
負債合計	6,040,385	6,142,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,167,551	1,167,551
資本剰余金	1,222,338	1,222,338
利益剰余金	3,781,510	4,093,917
自己株式	△20	△8,882
株主資本合計	6,171,379	6,474,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346	1,901
その他の包括利益累計額合計	346	1,901
新株予約権	1,296	3,873
少数株主持分	20,820	22,881
純資産合計	6,193,842	6,503,581
負債純資産合計	12,234,227	12,645,625

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	9,618,243	10,550,470
売上原価	6,051,121	6,530,482
売上総利益	3,567,122	4,019,987
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	1,342,338	1,357,297
賞与引当金繰入額	136,265	170,352
役員賞与引当金繰入額	3,000	5,220
退職給付費用	34,128	35,380
役員退職慰労引当金繰入額	9,244	930
貸倒引当金繰入額	9,103	18,257
その他	1,652,697	1,755,570
販売費及び一般管理費合計	3,186,778	3,343,008
営業利益	380,343	676,979
営業外収益		
受取利息	280	451
受取賃貸料	20,088	21,385
補助金収入	2,200	10,100
その他	23,766	28,515
営業外収益合計	46,335	60,453
営業外費用		
支払利息	25,804	22,480
受取賃貸料対応原価	10,222	10,222
その他	13,793	19,812
営業外費用合計	49,820	52,515
経常利益	376,858	684,917
特別利益		
固定資産売却益	79	—
特別利益合計	79	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	376,932	684,917
法人税、住民税及び事業税	145,968	270,649
法人税等調整額	43,815	12,066
法人税等合計	189,784	282,716
少数株主損益調整前四半期純利益	187,148	402,201
少数株主利益	1,256	2,061
四半期純利益	185,891	400,140

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	187,148	402,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	1,555
その他の包括利益合計	△95	1,555
四半期包括利益	187,052	403,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,796	401,695
少数株主に係る四半期包括利益	1,256	2,061

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理をしております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	47,636千円	45,884千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	237,595千円	273,395千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成24年6月30日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月22日 定時株主総会	普通株式	43,866	0.5	平成23年9月30日	平成23年12月26日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至平成25年6月30日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月21日 定時株主総会	普通株式	87,733	1.0	平成24年9月30日	平成24年12月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社及び連結子会社が関連する市場並びに事業形態が同一であることから、報告セグメントが単一セグメントとなりますので、報告セグメントごとの売上及び利益等の各情報につきましては、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額 (円)	4.24	9.13
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	185,891	400,140
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	185,891	400,140
普通株式の期中平均株式数 (千株)	43,866	43,836
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額 (円)	4.24	9.12
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	5	17
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、平成25年 4 月 1 日付で普通株式 2 株につき 1 株の割合で株式併合を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

サコス株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 増田 豊 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 梅原 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサコス株式会社の平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サコス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。